



ペルー映画祭

Festival de Cine Peruano 2023

2023.10.21 (SAT) ~ 11.3 (FRI)

★=上映後トークを予定

10/21 (土)	12:20 La Revolución y la tierra★	14:50 情熱の大河に消える	16:50 パモス・アヤクーチョ★
22 (日)	12:20 旅するエリスパン	14:30 アルパカと生きる喜び	16:20 アヤクーチョの唄と秩父の山 アフロ・ペルビアン・ビート★
23 (月)	12:20 サミチャイ、牛飼いの祈り	14:20 ファルファン 路地裏からの栄光	16:30 レタブロ
24 (火)	12:20 母なる勇気	14:25 再会の肖像	16:15 KAMIKAZETAXI
25 (水)	12:20 クイーンに沸いた夜	14:10 母なる勇気	16:30 サミチャイ、牛飼いの祈り
26 (木)	12:20 ファルファン 路地裏からの栄光	14:30 レタブロ	16:45 アルパカと生きる喜び
27 (金)	12:20 情熱の大河に消える	14:30 再会の肖像	16:35 クイーンに沸いた夜
28 (土)	10:20 クイーンに沸いた夜★	12:20 レタブロ	14:35 再会の肖像
29 (日)	10:00 KAMIKAZETAXI	12:35 情熱の大河に消える★	14:55 ある詩人への旅路
30 (月)	10:20 母なる勇気	12:40 旅するエリスパン	14:45 パモス・アヤクーチョ★
31 (火)	10:20 レタブロ	12:40 アルパカと生きる喜び	14:30 旅するエリスパン
11/1 (水)	10:20 再会の肖像	12:20 アヤクーチョの唄と秩父の山 アフロ・ペルビアン・ビート	14:15 ファルファン 路地裏からの栄光
2 (木)	10:20 情熱の大河に消える	12:30 サミチャイ、牛飼いの祈り	14:30 クイーンに沸いた夜
祝日 3 (金)	10:20 ファルファン 路地裏からの栄光★	12:40 母なる勇気	14:50 サミチャイ、牛飼いの祈り

初日プレゼント
10/21 (土) 初回鑑賞者全員に!

トークイベント

- ★10/21 (土)「La Revolución y La Tierra」新谷和輝 (ラテンアメリカ映画研究者)
- ★10/21 (土)・30 (月)「パモス・アヤクーチョ」監督&出演者による舞台挨拶
- ★10/22 (日)「アヤクーチョの唄と秩父の山」「アフロ・ペルビアン・ビート」島晃一 (映画・音楽ライター、DJ) × 水口良樹 (文化人類学者 (ペルー音楽文化))
- ★10/28 (土)「クイーンに沸いた夜」ヴィヴィアン佐藤 (ドラッグクイーン、美術家)
- ★10/29 (日)「情熱の大河に消える」榎瀬あずさ (東京大学大学院准教授)
- ★11/3 (金)「ファルファン」福島成人 (ヨコハマ・フットボール映画祭 実行委員長)

明治 ザ・チョコレート
ペルーカカオ70をプレゼント!
提供:株式会社 明治

information <https://www.buenawayka.info/festival2> 最新情報は映画公式サイトにて▶

- 3回券 3,600円 (税込) 劇場と映画祭公式サイトにて発売中! (限定数)
- 当日: 一般1,600円、大・高1,300円、シニア1,200円
- WEBチケット...ご鑑賞の3日前の0:00より、各回上映時間の30分前までWEBでチケットご購入いただけます。※詳細は劇場ホームページをご覧ください。

※3回券でのご入場の際は、必ず受付窓口にて指定席券とお引換えください。※3回券でのインターネット予約はできませんが、三日前の開場時より窓口にてお引換が可能です。※インターネット予約、窓口での先行販売で満席の際は、当日の窓口での販売はありませんのでご注意ください。



[企画・主催] ブエナビカ [後援] 在日ペルー大使館、日本ペルー協会、新宿区 (東京のみ)、大玉村、キョウダイレミタンス、一般社団法人ラテンアメリカ協会、インスティテュート・セルバンテス東京
日本ラテンアメリカ文化交流協会、一般社団法人日本ラテンアメリカリブ協会、株式会社ラティーナ、BIZEN中南米美術館 [特別協力] 株式会社 明治、シアタス心齋橋
[特別協賛] 株式会社 Aizawa Corporation [協賛] キョウダイレミタンス、株式会社ラティーナ、アマゾンカムカム株式会社、石井メイドオリジナル、Vivas Latin Shop (株) リーデル、イリスジャパン株式会社
[クラウドファンディング協力] 有限会社田島製作所、MACHU PICCHU SANTA PROJECT、BIZEN中南米美術館、ペルー料理 ミラフローレス
[クラウドファンディングパートナー] 株式会社ベストン 代表取締役 松本弘二郎、日本ペルー協会、寝るの富士、C-X [宣伝協力] スリーピン [デザイン] 中野香

ペルー映画祭開催にあたり、クラウドファンディングを行いました。たくさんのご支援ありがとうございました。



Festival de Cine Peruano



ペルー映画祭



大都会マチュピチュ、謎多しナスカの地上絵、美食...だけじゃないよ〜
神秘と多様性に満ちた南米ペルーから届いた珠玉作!



2023.10.21 (SAT) ~ 11.3 (FRI) 新宿K's cinema



[企画・主催] ブエナビカ <https://www.buenawayka.info/festival2>

ペルー映画祭

Festival de Cine Peruano 2023

日本ペルー外交関係樹立150周年という記念すべき年に、2回目のペルー映画祭を開催することができ嬉しく思います。日本初公開の作品をはじめとした多種多様な15作品を一挙上映いたします。映画を通して、さらにもう一步、ペルーの奥地へと進み、それぞれの視点でペルーをみつめていただけましたら幸いです。まだ見ぬ世界にきっと出会えることでしょう。是非、ペルー映画祭をお楽しみください。

ハビエル・エロー没後60年特別上映

ハビエル・エロー
Javier Heraud 1942-1963

詩人。首都リマのミラフローレス地区に生まれる。18歳の時に第一詩集『リウ』(El río)を刊行。20歳でキューバに渡り軍事訓練を受ける。翌年、「国民解放戦線」の一員としてゲリラ闘争に参加するも、政府軍の銃撃により死亡。享年21歳だった。



2019年|ペルー|ポルトガル語|100分|スペイン語|Blu-ray|監督:エドゥアルド・ギジョット|出演:ステファノ・トッソ、ソフィア・ロチャ、トミー・パラッダ『名もなき歌』
●イスパノアメリカ映画祭観賞賞(仏)
●グアダハラ国際映画祭ペルー代表正式出品

日本初公開

情熱の大河に消える

La Pasión De Javier

10/21@14:50 | 27@12:20
29@12:35* | 11/2@10:20

情熱的で型にはまらない文学生ハビエル・エロー。父親には、詩人となることに反対されていた。やがて、世界青年フォーラムに招待され訪れたパリでマリオ・バルガス・リョサと出会い、キューバ革命について意見を交換する。ラテンアメリカの不平を克服するには革命しかないと思信した彼は、ゲリラ・グループに参加することを決意するが…。

特別上映



2019年|111分|ペルー|スペイン語|ドキュメンタリー|DCP|監督:ゴンサロ・ペナベンテ・セコ
●リマ映画祭正式出品

日本初公開

10/21@12:20*

La Revolución Y La Tierra (原題)

La Revolución Y La Tierra

ペラスコ將軍率いるいわゆる軍部革命政権によって公布された農地改革法(1969年)は、ペルーの土地と市民権をめぐる闘争に重大な変化をもたらした。ペルーの映画はこの変化を記憶として焼き付けていったが、その多くが姿を消していった。それは、ペルーが記録のない国であることが、多くの人々の利益になったからであった。50年たった今、再構築し、戦車や銃以上に写真や物語が強力なことを問いただす。ペルー現代史のマスターピースといえる傑作。



2019年|ペルー|スペイン語|96分|スペイン語|ドキュメンタリー|Blu-ray|監督:ハビエル・エロー、コルクエラ『わたしはここにいる』|出演:アルトゥロ・コルクエラ|音楽:バウチ・ササキ『名もなき歌』
●ハリウッド国際映画祭正式出品
●リマ映画祭オープニング作品

ある詩人への旅路

El Viaje De Javier Heraud

10/29@14:55

詩人ハビエル・エローの大塚であるアリアルカは、ある日彼のトラックを発見する。そこには、彼女が知らなかった歴史が閉まってあった。家族や友人、ゲリラ闘争の同志、最期の地、フェルト・マルドナドの人々を訪ね歩き、大叔父ハビエル・エローの足跡を辿る。

日本ペルー外交関係樹立150周年企画



Vamos Ayacucho

(バモス・アヤクチュォ)

2022年|84分|ペルー|日本|日本語、英語、スペイン語|ドキュメンタリー|Blu-ray|監督:山本学|出演:三浦一社

2021年、舞踏家・三浦一社はペルーの演劇祭に招聘された。アヤクチュォから首都リマ郊外のカラモンコを巡り、ペルーの演劇人たちとワークショップなどを行いながら親交を深めていく演劇ロードムービー。演劇祭出演のアーティストのパフォーマンスも見応えがある。

10/21@16:50* | 30@14:45*



アヤクチュォの唄と秩父の山

2019年|60分|日本|日本語、スペイン語、ケチュア語|ドキュメンタリー|Blu-ray|監督:ホシノタカシ|出演:イルマ・オスノ、華久保伸英|音楽:Songs of Ayacucho / Mountains of Chichibu

アンデス地方アヤクチュォ出身の音楽家イルマ・オスノは、秩父に暮らしている。ペルーと秩父というまったく無縁であるはずの二つの土地を結ぶ一人の女性の屈託の無い生き様を鮮やかに映し出し、音楽とともに強く生きるアヤクチュォの人々の姿をありありと描く。

※『アフロ・ペルビアン・ビート』と併映

10/22@16:20* | 11/1@12:20



KAMIKAZE TAXI

英語・フランス語 字幕付

インターナショナル・バージョン

1995年|日本|135分|35ミリ|監督:原田真人|音楽:川崎高弘|出演:役所広司、高橋和也、片岡礼子
●1995年キネマ旬報ベストテン8位
●ヴァレシエヌヌ(仏)映画祭 最優秀監督賞 常盤ランリ
恋人を所属する組織に殺され組織を裏切ったテンピラの達男は、偶然出会ったペルー育ちの日系人タクシードライバーと逃亡を共にする。やがて二人の間には友情が育まれていく。二人の交流を描いたロードムービー。瀬木貴将によるケーナの音色が美しく響く。

10/24@16:15 | 29@10:00



レタプロ

スペイン語字幕

Retablo
2017年|ペルー|102分|ケチュア語、スペイン語|Blu-ray|監督:アルバロ・デルガド・アパリシオ|出演:ジュニオール・ペハロカ、アミエル・カジョ『サミチャイ、牛飼いの祈り』|トランスフォーマー『ビースト変種』、マカリ・ソリエル『羨しみのミルク』、『わたしはここにいる』

●ペルー国際映画祭エネレシオン14パズ部門国際審査員特別賞&ディナ賞アカデミー賞2018国際映画祭ペルーの伝統的な民芸品であるレタプロ作りに励む青年は、父親が抱える悲痛な秘密を偶然知り、深い信仰心と伝統を守ろうとする生々しい現実と、想像以上に深い父親とのつながりに直面する。LGBTQ+作品としても注目された。

10/23@16:30 | 26@14:30 | 28@12:20 | 31@10:20



母なる勇気

Coraje

1998年|ペルー|106分|スペイン語|Blu-ray|監督:アルベルト・ドゥソット|出演:ホルヘ・キアララ、イレンカ・セダ、ロサナ・ナバスル
●イペロアメリカ映画祭観賞賞●シカゴ国際映画祭観賞賞

リマ郊外にあるビジャ・エル・サルバドル地区に希望と平和を与えることを夢見てセンドラ・ロムリノに立ち向かった伝説の社会運動家、マリオ・エレナ・モヤノの最期の日々。ビジャ・エルサルバドル地区は、1987年にアストゥリアス皇太子賞平和部門を受賞。

10/24@12:20 | 25@14:10 | 11/3@12:40



アフロ・ペルビアン・ビート

Afro-Peruvian Beats

2017年|ペルー|18分|スペイン語|ドキュメンタリー|Blu-ray|監督:エルネスト・テト・カベジョス『クッキング・アップ・ドリーム』|出演:リゲンゲ・テンゲ・テンゲ、バルンプロシオ・ファミリア
●リマ映画祭観賞賞

アフロペルー文化の中心地テンチャに集うミュージシャンたち。アフリカ系ペルー人の伝統と自国を訪問するアーティストとの独創的な架け橋となる。そして、聴衆をペルーのアフリカ文化遺産のリズム、メロディー、ダンス、楽器に浸らせる、この豊かな遺産を再解釈し、世界と共有する。

※『アヤクチュォの唄と秩父の山』と併映

10/22@16:20* | 11/1@12:20



クイーンに沸いた夜

Invasión Drag

2020年|ペルー|78分|スペイン語、英語|ドキュメンタリー|Blu-ray|監督:アルベルト・カストロ・アンテナサ|出演:タニエ・デ・ラ・ウエ、ジョージ・ハート
●Inside Out Toronto LGBTQ Film Festival 正式出品

アメリカの人気リアリティ番組『ル・ボールのドラッグ・レース』でお馴染みのドラッグ・クイーンたちが、2017年リマで公演を行った。そのパフォーマンスやメッセージは、保守的なペルーにどのように受け入れられるのか? ペルーの閉ざされたLGBTQ+コミュニティを大きく開花させ、新たな輝きへ第一歩を踏み出す様子が描かれる。

10/25@12:20 | 27@16:35 | 28@10:20* | 11/2@14:30



ファルファン 路地裏からの栄光

La Fajrta: El 10 de la calle

2020年|ペルー|100分|スペイン語|Blu-ray|監督:マルティン・カサビア・カサノバ|出演:ジャン・フランコ・ロブレス、エミラム・コシオ(『ロムとフリタ 秘密の窓のカーレース』)
●イペロアメリカ映画祭観賞賞●シカゴ国際映画祭観賞賞

36年ぶりのW杯出場に導き、歴史に名を刻んだペルー代表ストライカー、ジェフェルソン・ファルファンの半生を描いた伝記映画。最貧困地区で生まれた彼は、サッカーと出会い逆境を乗り越えながら、「ストリート育ちの10番」となっていく。撮影は故郷のビジャ・エル・サルバドル地区にて行われた。

10/23@14:20 | 26@12:20 | 11/1@14:15 | 3@10:20*



サミチャイ、牛飼いの祈り

スペイン語字幕

Samichay, un busca de la felicidad
2018年|ペルー|83分|スペイン語、ケチュア語|ドキュメンタリー|Blu-ray|監督:ジュディ・ペレス|出演:ヴェラ・レックス、オスカル・メドラ、アルハンドロ・バラグエラ|アドバイザー:ハビエル・コルクエラ(『ある詩人の旅路』)
●リマ映画祭観賞賞

標高5,000メートルのアンデス山脈に家族と暮らす一人の農夫。過酷な生活環境のなか家族はバラバラとなり、瘦せ牛のサミチャイだけが残った。二人は共に、人生を模索する旅を始めるが…。道中の苦難に耐え街へと辿り着こうとする姿が、モンクロのアンデスに静かに映し出される。

10/23@12:20 | 25@16:30 | 11/2@12:30 | 3@14:50



旅するエリスバン

Manco Cápac

2021年|ペルー|92分|スペイン語、ケチュア語|Blu-ray|監督:ヘンリー・バジエホ・トルレス|出演:ヘスス・ルカ、ギヤビー・ワフ
●アカデミー賞2021国際映画祭ペルー代表

田舎の少年エリスバンは仕事を求めてブーノにある友人宅を訪ねるが、因らずも路上生活を始めることになる。自身の孤独を浮き彫りにするようなその街で、住む場所も金銭もなく、雑多な仕事をして糧口を稼ぐ日々。だが、その経験の積み重ねが、やがて彼の未来に希望をもたらす。

10/22@12:20 | 30@12:40 | 31@14:30



アルパカと生きる喜び

Pakucha

2021年|ペルー|80分|アイマラ語|ドキュメンタリー|Blu-ray|スペイン語字幕|監督:ティト・カタコラ|撮影:オスカル・カタコラ(『アンデス、ふたりぼち』)
●リマ映画祭ペルー文化省審査員特別賞

ペルー南部、アンデスのアイマラ族コミュニティでは、アルパカの繁殖と多様性の維持を「Pakucha(アルパカの精霊)」に祈願する儀式が行われている。儀式を通じ、アンデス文化の深みへ没頭し、新しい生命の起源となる神祕に満ちた世界へと導かれる。

10/22@14:30 | 26@16:45 | 31@12:40



再会の肖像

Volver A Ver

2018年|ペルー|83分|スペイン語、ケチュア語|ドキュメンタリー|Blu-ray|監督:ジュディ・ペレス|出演:ヴェラ・レックス、オスカル・メドラ、アルハンドロ・バラグエラ|アドバイザー:ハビエル・コルクエラ(『ある詩人の旅路』)
●リマ映画祭観賞賞

3才の写真家が、30年前に撮影した6枚の写真を持ってアヤクチュォの高地に戻ってきた。彼らは、写真に写る人々の捜索を始めた。写真による記録と人々の証言は、センデロ・ロムリノンに対する抵抗の記憶と勇敢な物語を甦らせる。写真に写る眼光是、強烈な程に胸に突き刺さる。

10/24@14:25 | 27@14:30 | 28@14:35 | 11/1@10:20